※令和４年度以降入学生用

学校番号	309

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽２　（教育芸術社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歌唱（独唱・合唱）、創作（作詞作曲）、器楽（ギター・キーボード・ハンドベル）、器楽アンサンブル、鑑賞等の様々な分野を幅広く学びます。
個人での実技試験に加え、グループによる練習や発表、ワークシート、感想文、その他平常点によって評価をします。一年次で学習した事を踏まえ、音楽的な知識や技能の更なる向上を目指してください。

２　学習の到達目標

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱	「浜千鳥」	a:音やリズム、強弱記号やその他音楽用語について正しく理解できている。 b: 楽譜に書かれていることを基に、譜面に沿った表現が出来ている。 c: 言葉の特性や曲種に応じた発声方法を模索し、積極的に歌唱に取り組んでいる。	実技試験 発言 授業観察	実技試験 授業観察	実技試験 ワークシート 授業観察
	創作	BGM 創作	a:リズムや強弱記号を正しく知覚できている。 b:言葉から思い起こす情景、心情に応じた音やテンポを模索し、楽譜に書き表せている。 c:言葉とリズムの重なりを知覚し、様々なリズムを多用するなど、積極的に創作に取り組んでいる。	実技試験 ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察	ワークシート
2学期	器楽	ギター「名残雪」 弾き語り	a:コードを正しく押さえて演奏できている。 ・楽譜に書かれたコードに合わせて歌唱できている。 b:楽器の特性を理解し、響きや音色に注目して演奏できている。 ・よりよい演奏を目指して課題を見つけ、解決しようとしている。 c:楽器の持つ特性を理解し、積極的に演奏に取り組んでいる。	実技試験 授業観察	ワークシート 授業観察	実技試験 ワークシート 授業観察
	歌唱	イタリア歌曲「caro mio ben」 ドイツ歌曲「野ばら」	a：イタリア語、ドイツ語の特性を理解し、正しく発音できている。 b：曲想からから思い起こす情景や心情を言葉で書き表わし、歌唱に反映できている。 c：諸外国の歌曲に親しみを持ち、積極的に歌唱に取り組んでいる。	実技試験 授業観察	ワークシート 実技試験 授業観察	授業観察 実技試験

※令和４年度以降入学生用

	合奏	箏「さくら」	a:箏の部位の名称や基本的な奏法を知覚している。 b: 箏の音色や響きに着目して演奏できている。 c: 全体の響きを聴きながら、よりよい音色を模索して演奏できている。	授業観察 発言	授業観察	授業観察 ワークシート
3学期	器楽	アンサンブル(キーボード、ギター、ハンドベル)	a:楽譜に書かれた音や強弱記号について正しく知覚し、演奏できている。 b:曲想に応じた工夫ができている。 c:各楽器の特性を理解し、音色の重なりに注目して演奏できている。	実技試験 授業観察	ワークシート 実技試験 授業観察	実技試験 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度